



# さわやか練馬

発行責任者・小林三雄 編集責任者・樋田信子

## 締めくくりの時を迎えて！

家庭倫理の会会長 小林三雄

今年度もあとわずかです。今年度活動へのご参加、ご支援ご協力をいただきましたこと篤く御礼申し上げます。

先日、開催した新会員歓迎会の席上、小生は平成二十年度家庭倫理の会練馬区の活動報告を担当しました。その資料整理に「さわやか練馬」の一年間の各号を振り返って見たのです。

九月の発表式から始まった、様々な行事で、多くの参加された方々の笑顔や、その陰でその行事を支えてくださったスタッフの皆様のご苦労や喜びの思い出を記事の文章、一つひとつの写真の中に深く感じる事ができました。

まさに「連帯感の輪を広げよう」の成果を実感し、来年度の「スローガン」一人の百歩から、百人の一步へ。」の拡がりを大



いに期待し、これからも心に残る広報誌となりますようご協力をお願い申し上げます。年度末のご挨拶とさせていただきます。

## 平成二十年度活動の流れ

### 純粹倫理学習会(学ぶ)

- 第一回：平成十九年十二月「教育の根幹」
- 第二回：平成二十年 二月「墓参の意義」
- 第三回：平成二十年 三月「信仰心を高める」
- 第四回：平成二十年 五月「原点に戻る」
- 第五回：平成二十年七月「自然現象に対する心構」

### 文化活動委員会(広げる)

- 第一回秋津書道特別講習会(青年一名)二月三日
- 第一回短歌一日入門：三月十六日
- 第一回文化展(短歌・書)五月十六日～十八日

### 子育て支援委員会(役立つ)

- 子育て学習講座(区からの委託)：平成二十年二月十九日・平成二十年六月十三日
- 子育て支援セミナー：平成十九年十月三十日

### ウェルカムパーティ(新会員歓迎会)

七月二十七日(月)午後四時～六時三十分迄

ゆうわ会館にて家庭倫理の会練馬区の活動にご賛同いただいた新会員歓迎会が行われた。



平成十九年

九月八日：家庭倫理の会練馬区発表式

・『正』家庭倫理の会設立感謝の表彰式(盾授与)

・九月末：第三回子どもしきなみ短歌コンクール

作品締切り(三八七首応募)

・十月二十一日：練馬まつり(独立六十周年記念)

・十月二十八日：会員大会(青年一名・子供六名)

・十一月二十五日：大泉学園駅周辺清掃

・十一月三十日～十二月二日：(富士研集団受講)

・十二月十六日：こども倫理塾Xマス会

平成二十年

・一月一日：新年式 新年会：一月末

・一月二十一日：地球倫理フォーラム

・一月二十四日：第三回子どもしきなみ短歌コンクール表彰式

・三月三十日：(現地資格セミナー)

・四月五日：(チャリティフォーラム)

・五月三日～五日：(富士研アクティブセミナー)

・五月二十四日：『春のほがし』

(多摩墓地清掃と朝食会)

・六月八日：(クリーンアースデイ)



◆ 各支部はいま！（一年を振り返って） ◆

江古田準支部：江古田準支部では、今年度は昼の集いを毎月一回、公の場所に、いろいろな講師をお迎えして、朝出席できない人、新しい人に呼びかけて開催し、数名の賛同会員が新たに誕生しました。又、一人暮らしの方が、毎回出席してお話を聞くことによって生きる力の支えにしておられるとの事。やはり、動いてみる、やってみなけりや結果が出ないということを実感しました。

これからも西武沿線に倫理の灯をともす、という先輩の人々の気持ちを大切に伝えて参ります。

それぞれの会員の家族の皆様 ありがとう  
**中村橋支部**：年度始め、正支部としての会員数をもってスタートしたが、予想外の移籍・退会もあり、正支部としての資格維持が困難という状況に陥った。

しかし、皆様のご理解、ご協力により、年度の後半からメンバーが大幅に恢復し、中村橋地域への普及基盤が整ってきたことは、なによりも嬉しく、有難く、感謝、感激でいっぱいです。

25日 今後とも、毎月の「昼の集い」をはじめ、諸行事にも積極的に参加し、「よくする運動」を促進してゆくよう努力いたします。

平成20年8月25日  
**桜台準支部**：生涯学習セミナー 会員交換会  
 地域交流・貢献行事の支部活動計画を実施した。  
 生涯学習セミナー「書の楽しみと感動、書から

得る感動と書くことの楽しみ」と題して、太田さんにお話ししていただきました。

会員交換会を新年度になってすぐ、城北公園で朝のすがすがしい空気の中、木立の下で朝食会をしました。懐かしい顔も見えて、体験を語りながら、もう大笑いでした。

倫理の素晴らしさを再確認したひとときでした。  
 地域交流貢献行事では、駅前清掃を計画しほぼ毎月実施しました。練馬駅が主でしたが、中村橋

駅前、光が丘駅前にも出かけました。区のゼッケンをしているせいか、清掃をしていると「ご苦労さま」「ありがとうございます」などと声をかけて下さいます。清められた駅で心も和んで一日のスタートが始められますように。

小さな実践の一步ですが、地道に続けることにより、家庭から地域から日本をよくする大きな力にもなると信じます。

**平和台支部**：毎月の倫理の集い、年六回の清掃活動が計画通りに出来ました。倫理の集いは未会員の方の参加は少なかつたけれど、元会員の方、朝来られない方とじっくりお話しが出来て良かったです。新世は氷川神社・みどり幼稚園へ置かせて頂いており、月が替わり新しい本が入ると2〜3日で二〇冊以上がなくなりしますので、本を読んでくださっているのが良く分ります。賛同して入会へ繋がる工夫を皆さんで考えて参ります。



大泉南支部：二十年度の活動計画の一つに西大泉

にある諏訪神社の掃除がある。一年前に始めた頃は、随分と掃除のしがいがあった。半日もかかるほどに時間がかったものだが、毎日続けていくうちに、ご近所の人や、お参りにいらした方々ともおなじみになり、語り合ったり、手伝わせて下さい。と、二人三人と仲間がふえ、一年経ってみると、最初の頃、腰をかかめて、これでもかこれでもかと、なかなか取れない草や葉っぱを取っていた、ことが懐かしく思えるようになりました。今は、手に持つほつきも軽やかに、皆さんときれいになっていく神社をながめながら喜びを味わっています。掃除は無心で素晴らしい「和」をかもしだしてくれて、喜びを大泉南支部に与えてくれるものとなりました。ありがとうございます。

**石神井準支部**：月日の経つのは早いもので、あっという間の一年間でした。石神井準支部では、皆さんが協力しあい励ましあって頑張ってくださいました。目標に向かって、こまめな集いを開き、又会員同士の親睦をはかり楽しい一年だったように思います。

25日 これからも無理ではなく、自然体の中に、常に賛同のお願い(三点セット+雑誌(新世))を持ち歩き、チャンスをとらえて、素晴らしい倫理を伝えていきたいと思えます。いつも明るく仲良く楽しく歩めるように心掛けます。

子ども倫理塾：八月九日子供倫理塾大会IN東京

が倫理研究所で開催されました。練馬区からも六人の小学生が参加してくれました。当日は四つのグループに分かれ、ペットボトル回しや吹矢などをして、最後に「ありがとうのあいさつが姿勢良く、大きな声で出来るかをグループごとに練習をして発表してくれました。皆、大変上手に元気にあいさつが出来て、倫理塾大会を無事に終えることが出来ました。

今年度も会員の皆様のお蔭で子ども倫理塾を終えることが出来ましたことに変感謝しております。ありがとうございました。

**\*知っていますか！** 七月七日は七夕ですが、本当は「シチセキ」と読んで五節句の四つ目にあたります。旧暦だと今年八月七日がちょうどこの日です。起源は中国からで、女性が針仕事の上達を願う行事が日本の古来より豊作を祖霊に祈るお盆と合さったようです。牽牛と織姫の伝説も中国からの伝来です。それがこままで有名になったかという、古事記に登場する棚機津女(たなばつめ)という神の着る衣を織る女性が、同じ機織の女性ということと結びつけられて話が広まったのだと言われています。

八月七日は旧暦の七月七日にあたります。何時かは行きたいと誰しも思う仙台七夕祭り



のちようど中日です。七夕と言えば短冊に願い事を書いて笹竹に飾るといのがお決まりですが、これは日本独自のもので江戸時代に始まりました。飾り終わった笹竹は川に流すのが本当ですが、最近は燃やしたりその灰を川に流したりと少々変化している様です。短冊は陰陽五行説に倣い緑・黄・白・黒と色が決まっています。七夕は本来技芸の上達を願う行司なので短冊に書く願い事は芸事であればご利益が期待できるそうです。さて、昔から祭りの神事は六日の夜から七日の早朝の間に行われます。これは天の川の織姫と牽牛が最も身頃になる時期だからといわれています。七夕の夜だと年に一回の逢瀬はもうすでに終わっていることになりすね。

【編集後記】残暑お見舞い申し上げます。九十年の歴史の中の高校野球、そして北京オリンピックの熱いたたかいを心から涙しながら見、人のつながりのすばらしさに感激いたしました。一年間、ご愛読誠に誠にありがとうございます。

(樋田・能美・中村・江上)